


事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
さいたま市レクリエーション協会支援事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
さいたま市レクリエーション協会加盟団体の種目を紹介及び体験させることで、スポーツ・レクリエーションの楽しさを伝え、市民のスポーツ・レクリエーションへの取組や種目団体への加入を促すよう支援する。	区の健康づくりの目標		
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
市民(幼児から高齢者まで)	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市レクリエーション協会、さいたま市レクリエーション協会加盟団体(17団体)、NPO法人埼玉県レクリエーション協会、市内体育施設			
取組の内容			
(1)さいたま市レクリエーション協会によるレクリエーションフェスティバル(加盟団体の種目や団体等の紹介及び体験コーナーの設置) ※新型コロナウイルスの影響により中止			
(2)レクリエーション協会加盟団体によるレクリエーションの普及事業			
<p><さいたま市レクリエーション協会加盟団体> 全17団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インディアカ協会 ・ソフトバレーボール連盟 ・家庭婦人バレーボール愛好会 ・親子体操協会 ・サイクリング連盟 ・3B体操同好会 ・ターゲット・バードゴルフ協会 ・日本民踊連盟 ・レクリエーション指導者協議会 ・フォークダンス連絡協議会 ・グラウンド・ゴルフ協会 ・ミニテニス連盟 ・ビーチボール協会 ・社交ダンス連盟 ・ペタンク連盟 ・ディスコン協会 ・ファミリーバドミントン協会 			
(3)広報誌及びレクリエーション協会加盟団体紹介リーフレットの作成(市内体育館等の公共施設へ配置)			
取組の成果			
市内公共施設へ広報物を配置したことにより、幅広い世代の方にスポーツ・レクリエーションを知っていただくことができた。また、初心者及び未経験者向けの普及事業の実施により、今までスポーツ・レクリエーションが身近でなかった方々に今からでも始められることを知っていただくことができた。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
多くの人が集まるレクリエーションフェスティバルについて、新型コロナウイルス感染拡大のリスクがあるため中止とした。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
市民が継続してスポーツに取り組むとは限らない。	スポーツが身近でない方々への啓発方法として、レクリエーションフェスティバルや小規模の普及事業は有効な手段であると考え、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで実施する。		

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
がん教育出前講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
若い世代ががんに対する正しい知識や検診の重要性を学ぶことで、がんに対する関心を高め、予防行動や将来のがん検診の受診を促す。			
			区の健康づくりの目標
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
市立各学校の児童・生徒、保護者、教員		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、埼玉県立がんセンター、彩の国東大宮メディカルセンター、さいたま市立病院、あけぼの会 あけぼの埼玉			
取組の内容			
以下6校で「がんの仕組みや予防法」、「がん経験者の体験談」などについて講座を実施した。			
①令和4年9月28日(水) 城南中学校 参加者:全校生徒、教員、保護者(206名) 講師:自治医科大学附属さいたま医療センター 医師		④令和4年12月19日(月) 川通中学校※予定 参加者:教職員、保護者(30名) 講師:さいたま市立病院 看護師	
②令和4年11月10日(木) 仲町小学校 参加者:教員、保護者(50名) 講師:さいたま赤十字病院 医師		⑤令和5年1月19日(木) 芝原小学校※予定 参加者:教員、保護者(40名) 講師:埼玉県立がんセンター 医師	
③令和4年12月14日(水) 大宮東中学校※予定 参加者:全校生徒、保護者(440名) 講師:あけぼの会 あけぼの埼玉		⑥令和5年1月23日(月) 常盤北小学校※予定 参加者:教員、保護者(30名) 彩の国東大宮メディカルセンター 医師	
取組の成果			
受講者のアンケートではがんという病気に理解が深まり、がん患者への接し方を知ることができてよかったという声が聞かれている。また、今年度から新たに都道府県がん診療連携拠点病院や埼玉県がん診療指定病院の協力を得ることで、さらに講義内容の充実を図ることができた。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
開催校との打ち合わせの段階から、開催間際の感染状況に合わせてオンライン開催にも変更ができるように準備した。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
がん教育に取り組む準備として教職員、保護者向けの講演依頼が多く、生徒向けの依頼が少なかった。今後は生徒向けや、本教育2回目の依頼も増えてくることが予想されるため、他校での本教育の実例をもとに学校側の希望を聞き取り、講演内容の充実を図ることが必要である。	引き続き、感染状況に柔軟に対応するため、集合型の開催を基本にしながらも、感染状況に応じてオンライン開催に変更ができるよう、打ち合わせ時から調整を行う。		

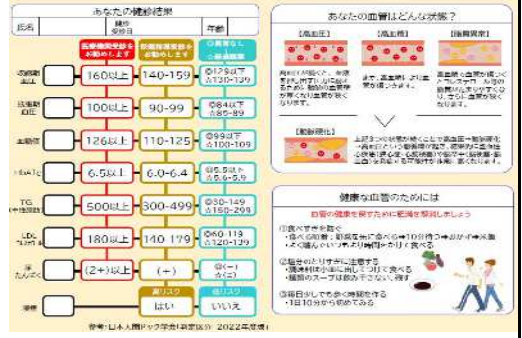
事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
スマートウエルネスさいたま	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
生活習慣病や寝たきり予防に向けて、部局を超えた連携により、保健福祉分野だけでなく、都市・交通を始め、様々な行政分野において、「歩く」を基本に、「体を動かす、体を動かしてしまう」まちづくりに取り組む。 また、健康無関心層の多い働き盛り世代の健康づくりを目的に、健康情報の発信や各種セミナーの開催を通じ健康経営を推進する。	区健康づくりの目標		-
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま健幸ネットワーク加入83企業・団体(R4. 11月末現在)、健康経営埼玉推進協議会			
取組の内容			
<p>①メルマガ「スマートウエルネスさいたまNEWS」配信！ 令和元年度から、さいたま健幸ネットワーク加入企業の健康経営推進を目的に健康情報のメルマガ配信を開始。令和4年度は、「健康マイレージ」、「熱中症」、「さいたま市民の健康状態」、「朝ごはんを食べましょう」をテーマにメール配信しました。</p> 			
<p>②健康経営を推進！ 埼玉県、保険者等で構成する「健康経営埼玉推進協議会」に参画し、広域で健康経営の普及・啓発を行いました。</p>			
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま健幸ネットワーク加入企業・団体 83団体(R4. 3月末)⇒83団体(R4. 11月末) ・さいたま市健康経営企業認定 43企業(R4. 3月末)⇒51企業(R4. 11月末) 			
新型コロナウイルス感染症の影響			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、企業訪問を見送り、健幸セミナーはYouTubeを利用した配信及び、オンラインでの開催とした。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
コロナ禍における市内企業・団体のさいたま健幸ネットワーク加入促進及び、健幸ネットワーク加入企業間における円滑な情報交換の場の提供。	引き続き、様々な企業・団体と連携しながら事業を継続していく。 健幸セミナーは、WEBと集合の両方の開催方法を検討しながら、健幸ネットワーク加入企業間における円滑な情報交換の場の提供に努める。		



事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
さいたま市健康マイレージ	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
楽しみながらウォーキングする機会を増やすことで、運動習慣を身に付け、ライフステージに応じて自ら継続的に健康づくりに取り組むことができる意識の醸成を目指します。			
区の健康づくりの目標			
-			
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
18歳以上の市民、市内事業所在勤者		単年度事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
ウエルシア薬局株式会社、株式会社ツクイ・ツクイケアコミュニティ、スポーツクラブNAS株式会社、大塚製薬株式会社大宮支店、森永乳業株式会社、テルモ株式会社、さいたま観光国際協会、全国健康保険協会埼玉支部、さいたま商工会議所、株式会社アールビーズほか			
取組の内容			
<p>・体組成測定会の実施 タニタ体組成計で体重・BMI・筋肉量・筋肉のバランス等を計測することが出来る測定会を実施した。コロナウイルス感染症対策による事前予約制は継続したが、スポーツクラブのトレーナーを招いた運動指導ブースや、民間企業・医療機関と協働した健康相談ブースを新たに設置し、健康啓発を行った。</p> <p>・ウエルシア薬局株式会社と協働した体組成測定会及び小学生向けかけっこ教室の実施 ウエルシア薬局さいたま今羽店にあるフリースペース「ウエルカフェ」で体組成測定会を実施し、店舗外軒下スペースで併せて、富士通株式会社陸上部OBを招き、小学生向けかけっこ教室を実施した。</p> <p>・「さいたま市健康マイレージ×オクトーバーラン&ウォーク 歩いて・走って・もらおう！あてよう！秋のフィットネスキャンペーン」の開催(10月1日～10月31日) さいたま市健康マイレージ参加者で、株式会社アールビーズ主催イベント「オクトーバーラン&ウォーク2022」に参加した方にもれなくマイレージポイント付与と、抽選での景品プレゼントキャンペーンを実施した。</p>			
取組の成果			
令和4年11月末時点において累計参加者数43,545人である。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体組成測定会を事前予約制とした。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
<p>・継続参加率の向上</p> <p>・ICT技術の更なる活用</p>	適宜見直しを行いながら継続して実施していく。		

事業名	重点目標	分野別の目標	8 節度ある飲酒と未成年者の飲酒防止
「さいたま市アルコール関連問題ネットワーク会議」の設置・開催	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
市におけるアルコール関連問題に対する情報や課題を関連機関で共有すること。 依存症者等に対する包括的な支援を実施するため、関連機関が密接な連携を図ること。			
			区の健康づくりの目標
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
さいたま市民		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
依存症専門医療機関、回復支援施設、自助グループ、さいたま市警察部、健康増進課、精神保健課			
取組の内容			
<p>アルコール健康障害(アルコール依存症その他の多量の飲酒、未成年者の飲酒、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒の影響による心身の健康障害)、それらに関連して生じるアルコール関連問題(飲酒運転、暴力、虐待、自殺など)を予防し、本人・家族が円滑に支援に結びつくよう切れ目のない支援体制を整備するため、関係機関によるネットワーク会議を設置し、令和4年7月28日(木)に第1回会議を開催した。</p> <p>会議では、各機関におけるアルコール関連問題及び依存症者等の支援に関する取組について情報交換したほか、「さいたま市ヘルスプラン21(第2次)」の目標指標に関する結果概要(休養・こころの健康づくり、お酒)、「埼玉県依存症対策推進計画」策定時データ(妊娠中の飲酒、飲酒運転、自殺等)について情報提供を行った。</p> <p><市調査データからみえる課題> ・生活習慣病のリスクを高める量の飲酒者が成人男性・女性共にベース値、中間値より増加 ・多量飲酒者の増加に加え、今回30歳代以上の女性の飲酒量に増加がみられ、いわゆる「働き盛り世代」の男女へのアルコール健康障害対策が課題といえる</p>			
取組の成果			
アルコール関連問題に対する情報や課題を関連機関で共有できた。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
対面で得られる意見は貴重と考え開催したが、新型コロナウイルス感染症への対応を最前線で担う予防や身体科治療に関わる機関(一般・救急医療機関、保健センター等)に出席いただくことが難しい状況にある。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
依存症に関連する機関の出席が中心であり、予防や身体科と精神科の連携について検討できるよう、構成機関を拡充する必要がある。	継続して対面で実施し、予防面の取組みや治療の連携につながるよう、参加機関を増やしていく。 出席が難しい機関には、随時情報提供を行う。		

事業名	重点目標	分野別の目標	6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
自殺対策推進事業「図書館キャンペーン」	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
自殺対策における普及啓発の取り組みの一環として、図書館でのパネル展示やパンフレット等の設置による情報提供を行うことで、市民に幅広く、自殺の現状やその予防について啓発する。			
		区の健康づくりの目標	
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
市在住・在勤・在学の方		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市立中央図書館、大宮図書館、岩槻図書館			
取組の内容			
<p>自殺対策やこころの健康に関連したパネルや図書の展示、パンフレット等の設置。今年度は、直近の自殺の動向をふまえて若者や女性向けの情報を強化して実施した。</p> <p>(1)中央図書館 令和4年9月6日(火)～9月20日(火)</p> <p>(2)大宮図書館 令和5年3月4日(土)～3月19日(日) 増加が懸念されている若者に向けた情報発信を強化した内容で実施</p> <p>(3)岩槻図書館 令和4年12月13日(火)～12月28日(水)</p>			
 			
取組の成果			
図書館は、学生や会社員、子育て世代、高齢者など、幅広い世代の市民が利用している。図書館利用者が行き交うスペースにパネルや書籍等を展示することで、普及啓発が進むものと考えられる。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
特になし			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
自殺の動向等を注視しながら、より効果的な事業の実施方法を検討していく必要がある。	開催会場、内容などの検討を行いながら、パネルや図書の展示、パンフレットの設置等を行う。状況に応じて、パネルのみの展示にする等、感染症対策を講じながら事業を実施する。		

<p>事業名</p>	<p>重点目標</p>	<p>2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">分野別の目標</p>
<p>糖尿病性腎症重症化予防対策事業</p>	<p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p>	
<p>事業の目標</p>		
<p>受診勧奨・保健指導のハイリスクアプローチ、また、教室等のポピュレーションアプローチにより、対象者の人工透析への移行を防止する。</p>		
<p>事業の対象者</p>		<p>単年度事業・継続事業</p>
<p>さいたま市国保加入者の内、以下に該当する者 (1) 受診勧奨: 糖尿病の未受診者・受診中断者 (2) 保健指導: 糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者 (3) フォロー教室: 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の修了後4年目以降の対象者と、そのうち後期高齢者医療制度への移行者</p>		<p>継続事業</p>
<p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p>		
<p>(1) 受診勧奨及び(2) 保健指導: 埼玉県、埼玉県医師会、埼玉県国民健康保険団体連合会、さいたま市4医師会、さいたま市内131協力医療機関 (3) フォロー教室: 年金医療課</p>		
<p>取組の内容</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>(1) 受診勧奨 特定健康診査等のデータから糖尿病性腎症の疑いがあるが、医療機関未受診の者と、糖尿病腎症で通院歴があるが受診を中断している者に対し、文書及び電話による受診勧奨を行う。</p> <p>(2) 保健指導 糖尿病性腎症で通院中で、病期が第2期、第3期及び第4期のハイリスク者と思われる者で、本人が参加を希望し、かかりつけ医が推薦した者に対し、電話及び面談による保健指導を実施する。</p> <p>(3) フォロー教室 保健指導修了後4年目以降の対象者と、そのうち後期高齢者医療制度への移行者に対し、フォロー教室を実施する。</p>  </div> <div style="width: 35%;"> <p>(2)ハイリスク者の保健指導内容</p>  </div> </div>		
<p>取組の成果</p>		
<p>(1) 受診勧奨: 未受診者475人、治療中断者112人に対して文書勧奨を行い、その後、電話勧奨を実施した。 (2) 保健指導: 1, 573人の対象者に通知を送付し、参加を希望した対象者のうち、131協力医療機関のかかりつけ医が推薦した132人(昨年度147人)と継続支援を希望した33人に対し保健指導を実施中。 (3) フォロー教室: 国民健康保険加入の289人、後期高齢者医療保険加入の61人に案内を送付。参加者9人(国民健康保険4人、後期高齢者医療保険5人)に対し、教室を実施した。</p>		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>		
<p>(2) 保健指導: 申し込み期間が第7波と重なり、対象者の受診控えや、医療機関の新型コロナウイルス感染症対応等の影響もあり、参加者数が減少した。 (3) 教室の定員を調整した。</p>		
<p>課題</p>	<p>With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性</p>	
<p>保健指導の参加者数が減少しているため、かかりつけ医から推薦をもらえる工夫をする。 また、参加者は65歳以上が8割を占めており、生活習慣の改善の指導が難しい。糖尿病性腎症発症前の若い世代からの生活習慣の改善、糖尿病や合併症に対する知識の普及・啓発が必要である。</p>	<p>感染予防に留意し、感染拡大状況に合わせ、事業のスケジュールや実施方法等について、関係機関と調整しながら引き続き実施する。</p>	

<p>事業名</p>	<p>重点目標</p>	<p>2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進</p>
<p>高血圧性疾患重症化予防対策事業</p>	<p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p>	<p rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">分野別の目標</p>
<p>事業の目標</p>		
<p>高血圧症や脂質異常症が重症化するリスクの高い者が、医療に結びつくとともに、保健指導を受けることにより、脳卒中、心臓病などの循環器疾患による死亡や要介護を予防し健康寿命の延伸を図るとともに医療費適正化を推進する。</p>		
<p>区の健康づくりの目標</p>		
<p>事業の対象者</p>		<p>単年度事業・継続事業</p>
<p>さいたま市国保加入者の内、特定健康診査の結果、検査値が次の基準に該当し、高血圧・糖尿病・脂質異常の治療をしていない者 (1)受診勧奨:Ⅱ度高血圧、Ⅲ度高血圧、かつ①脂質異常②尿たんぱく(+1)以上 ③HbA1c6.5%以上 ④喫煙 ⑤その他、特に受診勧奨が必要なリスクがあるもの (2)保健指導:①高血圧症かつ脳血管疾患、心疾患等のリスクがあるもの ②その他、特に指導を要すると市が認めたもの</p>		<p>継続事業</p>
<p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p>		
<p>さいたま市4医師会、さいたま市内294協力医療機関</p>		
<p>取組の内容</p>		
<p>(1)受診勧奨 対象者へ通知文書を送付後、電話勧奨を行う。電話勧奨では、受診勧奨及び必要に応じて相談を行うとともに、未受診の理由及び今後の受診行動について確認する。</p> <p>(2)保健指導 対象者へ通知文書を送付後、電話・訪問にて保健指導を行い、受診のための相談及び援助を行う。その後、指導から約2か月間の受診確認を行い、未受診者に対して、電話にて訪問指導後の生活改善状況の確認及び相談等を実施する。</p>		
		
<p>取組の成果</p>		
<p>(1)受診勧奨は対象者548人に対し文書の勧奨を行い、そのうち220人に電話での勧奨を実施した。 (2)保健指導は対象者202人に対し文書と電話による参加勧奨を行い、20人に訪問または電話指導を実施した。</p>		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>		
<p>受診勧奨者から、コロナ禍を理由として訪問指導を拒否するケースがあった。</p>		
<p>課題</p> <p>「自覚症状がない、特に気にしていない」「次の健診を受けてから考える」等の理由で受診していない者も多く、疾患の理解や受診の必要性の認識の低さが課題としてあげられる。 また、高血圧は多くの循環器疾患の危険因子であり、疾病の発症や死亡に対する影響が大きい、そのリスクが認識されにくい疾患であることから、ハイリスクアプローチと共にポピュレーションアプローチが重要である。</p>	<p>With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性</p> <p>感染予防に留意し、感染拡大状況に合わせ、事業のスケジュールや実施方法等について、関係機関と調整しながら引き続き実施する。</p>	

事業名	重点目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	分野別の目標
事業の目標		
登録者数41,000人		
区の健康づくりの目標		
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
さいたま市内に住所を有する65歳以上の方	継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体 なし		
取組の内容		
<p>登録者数41,000人を達成するために以下のPRを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護被保険者証、後期高齢者医療保険者証の発送時にチラシの同封 ・自治会掲示板回覧板の活用など <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
取組の成果		
令和4年11月30日時点での登録者数39,413人		
新型コロナウイルス感染症の影響		
これから活動しようとする人や既に活動している人に影響を与えています。		
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性	
事業開始当初は地域団体へのPRを行いながら登録者数を増やしてきましたが、現在は登録者数の伸び率が低い。	多くの高齢者に参加いただけるよう、各種イベント会場において、事業のPRを実施していく。	

<p>事業名</p>	<p>重点目標</p>	<p>2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進</p>
<p>ますます元気教室</p>	<p>Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり</p>	<p>3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上 4 1日3食バランスのとれた食生活の推進 5 積極的な身体活動と運動習慣の形成</p>
<p>事業の目標</p>	<p></p>	<p>分野別の目標</p>
<p>高齢者が自立した生活機能を維持し、できる限り要介護状態とならないように、介護予防に関する体操、栄養改善・口腔ケア、認知症予防などの講習を行い、高齢期の生活全般にわたる必要な知識を習得するとともに、いきいき百歳体操などを行う通いの場における自主活動グループ化を目指します。また、この活動を継続することで、社会参加や地域づくりにつながるよう支援します。</p>	<p></p>	<p>区の健康づくりの目標</p>
<p>事業の対象者</p>	<p>単年度事業・継続事業</p>	
<p>市内に在住の65歳以上で教室に関心のある方</p>	<p>継続事業</p>	
<p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p>		
<p>教室運営委託事業者、地域包括支援センター(シニアサポートセンター)、各区高齢介護課、各公民館、コミュニティセンター、老人福祉センター、自治会館、介護老人保健施設、学校等</p>		
<p>取組の内容</p>		
<p>市内59公民館、自治会館、老人福祉センター、学校等を会場とし、介護予防に効果のある、おもりを使った筋カトレーニング「いきいき百歳体操」の方法を学ぶとともに、フレイル予防、認知症予防など、介護予防の知識を幅広く学ぶ教室を開催しています。また、参加者が教室終了後に「いきいき百歳体操」を身近な場所で自ら継続して行うことができるよう、自主グループ活動の立ち上げを支援しています。</p>	 <p>【おもりを巻いていきいき百歳体操に取り組む参加者】</p>	
<p>取組の成果</p>		
<p>参加者へのアンケートではほとんどの方から満足との回答を得られています。市の介護予防教室の中核的な取組として、参加者に他の介護予防教室を案内したり、介護予防ボランティアの「いきいきサポーター」の養成講座への参加を促したりする場にもなっており、介護予防のきっかけづくりとしての成果があると考えます。</p>		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>		
<p>参加人数を制限し、換気、参加者同士の交流会を中止するなど従来のプログラムを変更し、感染症予防策を実施して開催しています。</p>		
<p>課題</p>	<p>With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性</p>	
<p>地域の状況により、参加者が少ない会場があります。公民館以外の場所で教室を開催することで、その地域でいきいき百歳体操の自主グループ立ち上げにつながることを期待できるため、民間施設を含めて多様な場で教室を開催できるよう、会場探しや会場確保に取り組むこと必要です。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に関する国等の方針を踏まえて必要な感染症対策を講じつつ、高齢者のフレイル予防を推進するため、本教室をはじめとする各種の介護予防教室や通いの場におけるいきいき百歳体操等の活動支援を継続していきます。</p>	

<p>事業名</p>	<p>重点目標</p>	<p>1 がんの予防と早期発見の推進</p>
<p>がん検診受診率向上対策普及啓発事業</p>	<p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p>	<p rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">分野別の目標</p>
<p>事業の目標</p>		
<p>がんについての知識やがん検診に関する普及啓発活動を行い、がんに関する意識を高め、受診率向上を図る。</p>		
<p>区の健康づくりの目標</p>		
<p>事業の対象者</p>		<p>単年度事業・継続事業</p>
<p>市民</p>		<p>継続事業</p>
<p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p>		
<p>①について、大宮図書館と連携</p>		
<p>取組の内容</p>		
<p>①大宮図書館にてがん検診のパネル展示 (10月14日～10月28日) ②さいたま市Twitterに掲載 (5月・10月・11月) ③市報さいたまに掲載 (5月・8月・10月・11月)</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		
<p>取組の成果</p>		
<p>①について例年中央図書館で実施していたが、今年度は大宮図書館と連携して行った。配架したパンフレットは多く持ち帰られており、図書館スタッフからは、様々な世代の方が足を止めてみていたとの話もあった。場所を変えて行うことで、新たな対象者への周知、啓発につながった。</p>		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>		
<p>特になし</p>		
<p>課題</p>	<p>With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性</p>	
<p>がん検診受診率向上を図るため、検診未受診者に届く情報発信の方法を検討し、継続して実施していく。</p>	<p>継続して情報を発信していく。</p>	

事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
8020歯の健康教室	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
・正しい歯のみがき方を身に付けさせる ・歯・口の健康に関する意識の啓発を図る			
			区健康づくりの目標
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
市立全小学校の第1・2・3学年の児童と保護者		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市歯科医師会、埼玉県歯科衛生士会			
取組の内容			
<p>【歯科衛生士による児童への歯みがき指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話は例年どおり実施し、歯みがきの実習のみ中止した。 <p>【歯科医師による保護者への講話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、歯科医師が講話する学校保健委員会を集合形態からオンラインやオンデマンドで実施した学校があった。 			
取組の成果			
状況に応じてその都度歯科医師会や歯科衛生士会と連絡調整し、柔軟に対応できた。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
感染拡大防止の観点から、歯みがき実習のみを中止した。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
・実施月が6月～12月のため、暑い時期に体育館に集合することに危惧する学校もあり、要望のあった学校にはオンラインでの対応とした。オンライン開催では、指導者側からは児童の反応が見えないこと、また、学校側からは音声や動画が途切れるなどの不具合が生じ、スムーズにいかない場面があった。また、オンラインで実施する場合、担任の協力が得られないと実施は難しいと強く感じた。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館に一斉に集めての指導に対し、学校側は規模が大きくなればなるほど不安を感じる傾向にあるため、実施形態の見直しが必要である。 ・歯みがきの実習を再開するのであれば、クラス単位での実施も視野に入れたいといけませんが、今後も実習をしないのであれば、指導者の負担を考え、まとめられる学年はまとめての実施も検討していく必要がある。 		

事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
公民館介護予防事業	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
			5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
			6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標			
本市の地域的課題の一つである高齢者支援に対応する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進等に寄与する			
			区健康づくりの目標
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
65歳以上の方		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
各区高齢介護課、いきいき長寿推進課 等			
取組の内容			
<p>「介護予防普及啓発事業」に関する教室を「公民館介護予防事業」として、区高齢介護課、いきいき長寿推進課及び各公民館による主催並びに生涯学習総合センターの協力により開催します。</p> <p>1 生きがい健康づくり教室 介護保険制度、防犯、防災、健康などさまざまなテーマを、公民館で従来実施してきた介護予防教室の形式(講座、ワークショップ、体験学習、世代間交流など)で学び、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした教室を実施します。</p> <p>2 ますます元気教室 各種体操や簡単な運動・栄養改善・口腔ケア、認知症予防等、高齢期の生活全般にわたる必要な知識を複合的なテーマで学び、自主グループ化を目指し、介護予防活動を継続できるよう支援することで、高齢者が自立した生活機能を維持し要介護状態等になることをできる限り防止することを目的とした教室を実施します。</p>			
取組の成果			
<p>令和3年度実績</p> <p>生きがい健康づくり教室 参加者延べ人数 26,777人</p> <p>ますます元気教室 参加者延べ人数 7,319人</p>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
定員を制限して教室を実施している。			
課題	With コロナへの移行も踏まえた今後の方向性		
講座周知の方法 講座申込みのデジタル化への対応	引き続き感染予防対策を実施し、参加者の安全面に配慮しながら講座を運営していく。		